



山梨県立 都留高等学校



所在地 〒401-0013 大月市大月 2-11-20
 電話 0554-22-3125
 F A X 0554-22-0902
 U R L <http://www.tsuru-h.ed.jp>
 E-mail info@tsuru-h.ed.jp
 創立 明治 33 年 4 月 17 日
 課程 全日制・定時制
 利用交通機関 JR 中央線大月駅下車 徒歩 8 分
 富士急行線上大月駅下車 徒歩 2 分
 教員数 56 名(全日制 50 名 定時制 6 名)
 生徒数 682 名

学科	1 年		2 年		3 年		4 年		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
全日制単位制普通科	122	108	127	109	108	102			666
定時制普通科	1	1	3	0	5	3	1	2	16

校 訓
質実剛健・自学進取

学校の特徴

本校は、明治 33 年の創立以来、一世紀以上にわたり、県内屈指の伝統校として地域に深く根を下ろしてきました。卒業生は三万名を数え、現在も各界に優秀な人材を輩出し続けています。

本校の最大の特徴は、自由な雰囲気のもと、生徒一人一人が、様々な活動に懸命に取り組み、生き生きとした学校生活を送っている点にあります。

以下は本校生徒の生の声です。参考にして下さい。

平成 30 年度 2 年次男子

都留高校は、学業・部活動・課外活動を通し、校訓である「質実剛健・自学進取」にもあるように、生徒一人一人が高いレベルの文武両道を目指す学校です。私は、S A クラスに所属しており、多様な講演会、インターネットを通じて外国人講師と英会話をするなど高校の授業では体験できない経験をしています。また、都留高校独自の生徒による探究活動「つるたん」を通して、主体的な学び・論理的な思考力など身につけることができました。学習面や部活動においては、高い目標を持った仲間たちとともに、先生方の熱心な指導のもと充実した日々を過ごしています。都留高校は魅力に溢れた素晴らしい学校だと思います。

平成 30 年度 2 年次女子

都留高校は、社会で求められている「自ら問題を見つけ、解決する力」を伸ばすことができる学校だと思います。都留高校独自の探究活動「つるたん」では、自分の興味があるテーマについて、1 年間実験や調査を行い、成果を発表します。この活動を通して主体的に学ぶ大切さを実感しました。また、私が所属する S A クラスでは講演会や施設見学を通し、座学では学ぶことができないことを文理の垣根を越えて学ぶことができることに魅力を感じています。学業・部活動・課外活動を両立することは簡単なことではありません。しかし、仲間たちとともに切磋琢磨しながら充実した日々を過ごしています。

単位制普通科

本校は平成 14 年度より単位制に改編されています。単位制高校の利点を生かし、生徒の能力に応じた多様な科目を用意するとともに、生徒の可能性を十分に伸ばし、より豊かな人間性を備えた人材を育てていきます。

教育目標

総合的な人間力を高め、次代の地域と日本を担うグローバル人材を育成する。

個性と能力を最大限に伸長させ、第一希望の進路実現を図る。

重点目標

より質の高い文武両道を目指す。

自他への思いやりや優しさを持つと同時に、困難を乗り越える強い意志と勇気を持った生徒の育成に努める。

自ら学び、判断し、行動する姿勢を求め、次代の社会を担い、自立して生きていく力を培う。

定時制

定時制は、勤労青少年のためにつくられた課程で、本校には単位制普通科(夜間)が設置されています。働きながら学ぶ生徒には教科書無償制度や給食の補助等の特典があります。通常 4 年間通学しなくてはなりませんが、中央高校通信制との併修により 3 年で卒業することも可能です。

自学研鑽室

本校には、大小合わせて三つの「自学研鑽室」(= 自習室)が設置されています。「自学研鑽室」は、自主的な学習を行う場として、早朝、放課後、土・日曜日、長期休業中などに利用することができます。各座席がしっかりと仕切られ、学習参考書、新書をはじめとした書籍も充実しているので、静かで落ち着いた雰囲気の中、集中して学習に取り組むことができます。

昨年度の進学状況（人数）

昨年度の進学状況（人数）

（現役のみ）

国公立大学（総計）

名古屋大学（1） 東京学芸大学（2）
東京農工大学（4） 電気通信大学（3） 奈良女子大
学（1） 静岡大学（6） 信州大学（1）
山梨大学（20） 首都大学東京（6）
大阪府立大学（1） 都留文科大学（13） 山梨県立
大学（10）

私立大学（総計）

早稲田大学（1） 東京理科大学（1） 国際基督教大
学（1） 明治大学（9） 青山学院大学（3） 中央
大学（9） 法政大学（14） 日本大学（7） 東洋
大学（9） 駒澤大学（9） 専修大学（14）
他多数

平成29年度 進学者数

国公立【63】 私立【125】 大学校【2】 短大
【2】

専門(医療系)【5】 専門(その他)【4】

部活動の状況

本校の部活動は大変活発で、大多数の生徒が学業との両立を図り文武両道を実践しています。部活動を通して、仲間と共に切磋琢磨し合い、心身を鍛えたり、感性を高めたりしています。

体育局

野球・陸上・サッカー・水泳・ハンドボール・ソフトテニス・卓球・ワンダーフォーゲル・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・剣道・柔道・空手道

文化局

吹奏楽・美術・書道・茶道・写真・軽音楽・文芸・放送・合唱・囲碁将棋・箏曲・華道・地球物理・生物化学

同好会

ボランティア・英語・演劇・地域活性化・新聞

平成30年度県高校総体

男子総合 8位 / 女子総合 14位



自ら「学ぶ力」「考える力」「実現する力」に効く！

『都留高探究プロジェクト』

本校では「総合的な学習の時間」において、1,2年次生全員が「都留高探究プロジェクト」に取り組んでいます。これは、生徒一人ひとりが社会や地域の課題に目を向け、そのなかで「もっと知りたい」「解決したい」と思うことについてテーマを設定し、探究する活動です。書籍やインターネットのみを用いた調べ学習ではなく、研究手法に「実験、観察、フィールドワーク、施設訪問、インタビュー」など、「アクティブな探究活動」を必須としている点に、本校ならではの特征があり、SSH2期10年の指定研究の成果が大いに生かされています。



「岩殿山礫岩層の堆積環境について（山梨科学アカデミー賞（最高賞）受賞）」、「シオジの森を守ることの意味」「上大月駅を都留高校前駅に」等、研究テーマは多岐に渡り、生徒は本探究活動を通して「主体的に学び、論理的に考える力」「人と協働する力」「行動し、実現する力」など、座学だけでは身につかない、様々な「生きる力」を育んでいます。

- 都留高探究プロジェクト 生徒感想 -

- ・「つるたん」で、コミュニケーション力も向上し、とても有意義な時間が過ごせた。
- ・探究活動はとても楽しかった。パワーポイントやポスターも昨年より工夫して作成できた。

主な学校行事

4月	始業式・入学式・対面式・応援練習
5月	県高校総体・創立記念日・第1回定期試験
6月	若鶴祭
7月	三者懇談・夏季休業・夏期課外・登校学習会・S Aサマーキャンプ
8月	夏季休業・夏期課外・オープンスクール・全国高校総体・全国高校総文祭・サイエンスツアー
9月	第2回定期試験・体育祭
10月	芸術鑑賞会・新人戦
11月	県高校芸文祭・第3回定期試験
12月	三者懇談・修学旅行（2年次）・冬季休業
1月	冬季休業・大学入試センター試験・スキー教室（1年次）・文化局発表会
2月	第4回定期試験
3月	卒業式・球技大会・終業式・年度末休業